



かえるの詩

学校便り(校長) 令和4年8月31日 No.7

今日のテーマは、『挨拶・礼儀について考える』です。

今回は、「挨拶・礼儀について考える」です。

日本では、「挨拶する」ことは、とても大切にされています。反面、「会話をする」ということが少し軽んじられているという人もいます。

お母さんと子供が、知り合いの人と出会って、

「大きくなったね」、「はい。」 「今、スケート続けてるんだって」、「はい。」
「すごい記録出したって聞いたよ。」、「はい。」

これでは、会話にはなっていません。「はい。」しか答えない理由は、「ちょっと恥ずかしい」、「めんどくさい」、「今日は疲れている、」などなど、いくらでもありそうです。どうでしょうか。

たくさん理由があっても全て自分の都合です。そこに相手意識はあるでしょうか？

地域の皆さんのおうちに届け物をした時など、地域の皆さんが、いろんな話をしてくださいませ。せっかくの地域の良さを、子供達も引き継いで、心から礼儀正しい人に育ててほしいと願い、始業式でも子供達に話をしました。その結果、

ある朝、「9月は大会あるの?」 「はい、中ごろに。」

「それは、全道とかに続くの?」, 「いいえ」 しばらく考えて

「上につながるのは11月にあります。」

「そう、少しは出られそう?」, 「レギュラーなので、出られます」

私が聞きたいことを先回りして、答えてくれて、感動しました。大人になったら、急にできるわけではないので、途別の良さを今から引き継いでほしいものです。